



どのようにしてLCIF一般援助交付金を申請できるか

LCIFの一般援助交付金は、世界各地の地域社会における人道主義的ニーズに応えるものである。これは、ライオンズが一番良く関係する交付金の種類である。交付金の基準によると、各地域社会でライオンズが力を合わせて資金集めに努力し、事業を完了させなければならない。財団は、全世界の地域社会で奉仕するこれらライオンズの仕事を支持している。

世界各地のライオンズは良く、交付金の基準に関する説明を求めたり、資金の申請法について問合せている。以下は、そのような質問に答える参考事項である。更に質問がある場合には、LCIF援助交付金課に連絡する。

LCIF一般援助交付金とは何か

一般援助交付金は、世界中のライオンズが申請できる交付金の一つである。どの地区(単一、準、又は複合)からも、申請できる。LCIF一般援助金は、人道主義的ニーズに応える大きな事業のために承認される。多くの人を援助する事業であり、クラブや地区の普通の資金調達活動では賅えない規模のものでなければならない。どのLCIF事業にも見える要素は、事業を企画する地元ライオンズの献身の決意である。ほとんどの事業はライオンズの旗印の下に行われるばかりか、個々の会員が、資金獲得、計画、事業実施地での専門的技能の活用などに、多くの時間を捧げている。そのような協力のお蔭で、事業の影響は大きく、他の方法では不可能な数の人々を助けることができるのである。

典型的な事業には、小児科病院、老人養護施設、障害児のためのキャンプ、生まれぬ人々の職業技術訓練所などの設立がある。一般援助金は又、保健など一般的な問題と取り組む事業にも交付される。巡回検診車、ライオンズ眼科診療所やアイバンク、病院のための備品購入などのためにも、毎年この援助金が良く交付されている。身体障害者や視力障害者への奉仕拡張にも、この援助金が交付される。

LCIF一般援助交付金の主な要素

- 大事な人道主義的ニーズに応える
- 地区が単独では取り組めない努力に助力する
- 長期的恩恵を与える
- 多くの人又は大きな地域に奉仕する
- ライオンズが直に手をかける
- ライオンズの事業との関係が表示される
- 地元ライオンズ間で多額の資金を集める

LCIF一般援助交付金申請にはどのような手順に従うか

第1段階： 準備

交付には大規模なライオンズ事業が優先されるので、LCIFの資金援助を受ける事業は大抵、ゾーン、リジョン、又は地区内幾つかのライオンズクラブが始めるものである。事業開発の方法は、その地域の事情によって異なる。例えば地区が、長期的奉仕事業拡張のために資金を申請したとする。それには、大学でのライオンズ眼科診療所や障害児の夏期キャンプなどがある。あるいは、今まで取り上げられなかった問題と取り組む新しい人道主義的事業を、ライオンズは始めるかもしれない。その問題とは、巡回検診車、児童ホスピスの拡張、又は日中老人を預けられるデーケアセンターかもしれない。可能な事業の種類には限りがない。

第2段階： 地区の協力

どのLCIF交付金申請にも地区又は複合地区の指導者の承認が必要である。地区ガバナーが、事業の社会的な価値、その成功の可能性、又は妥当性など、事業の必要性を証明しなければならない。申請書が提出される前に、地区の経済的支援など地区の全面的支持も必要である。

地区の経済的支援とは何であろうか。別個の事業基金をもたない地区が多いので、地区支援には、幾つかのクラブの資金獲得活動が必要になる。申請時に、必ずしも資金が全額集まっていなくても構わない。申請書に書く予算に、「集金済資金」「寄付誓約資金」「予期される資金」などを加えることができる。

第3段階: 申請書提出

申請書には、事業名、申請金額、恩恵を受ける人の見積り数など必要事項を全部記入し、地区ガバナーがこれに署名する。その外にも、記入すべき事項がいろいろある。詳細については、申請用紙を参照する。交付金申請が決議されたキャビネット会議又は協議会会議の議事録、事業の説明要約、詳しい予算、ライオンズがどの程度関与するか説明も、必要である。

LCIF理事会会議の審議事項として加えてもらうには、その会議の60日前までに、すべてが整った完全な形で申請書が届いていなければならない。

第4段階: LCIF援助交付金課での申請書受領

まず援助交付金課が、申請書に目を通す。更に追加の情報や変更が必要な場合には、申請者にその旨が伝えられる。すべてが整ったら、事業案が要約されてLCIF理事会に提出される。同理事会は、これを承認、否認、あるいは継続審議にすることができ、申請者に理事会の決断が通知される。

LCIF理事会の1回の会議で検討できる申請の数は、一つの地区につき最高2件までである。

第5段階: 交付金申請の承認

援助金の交付が承認されると、地区ガバナーに通知が行く。この手紙には、交付金の小切手(条件なしで承認された場合)、新聞発表記事見本、LCIFの協力を表す楯の注文説明書が含まれる。

LCIF理事会が交付金を承認した際の地区ガバナーが、交付金管理者となる。このガバナーが、LCIF交付金の

LCIF援助金受領の資格がない事業

- 政府その他の機関が資金援助すべき事業
- 既に存在する事業や施設の運営経費及び給料
- ローンの返済のため又は積立基金を設けるための援助金
- 地域社会の「美化」事業 -- 公園、プール、遊戯場、運動場など
- 一つのクラブの事業 -- 最低二つのクラブの関与が必要
- 個人の科学研究 -- 但し地区は、ライオンズ関係の研究新建設又はそのための備品購入を申請することができる
- ライオンズ及び(又は)その家族が所有権を持っていたり、直接又は職業上の利益を受けるような事業

支払と記録維持の責任を持つ。事業が次の会計年度にも続いた場合には、交付金管理者が次の地区ガバナーに権限を委任することができるが、LCIF理事会の承認があった場合だけである。

第6段階: 地区の事後処理

交付金管理者は、事業完了の際に、最終報告書をLCIF援助交付金課に提出しなければならない。この報告用紙は、交付金が承認された際に交付金管理者に送られる。最終報告書には、写真、新聞記事切り抜き、その他事業完了に関する書類を添える。

交付金申請予算見本

(収入と支出は同額でなければならない)

収入

XYZ-地区内20ライオンズクラブ (各クラブ名とそれぞれの集金済金額を記入する)	US\$52,000
XYZ-地区(集金済)	8,500
地域社会のドネーション (ライオンズが募金し集金済)	6,000
地域社会のドネーション(予期される寄付金)	3,000
企業のドネーション (ライオンズが募金し集金済)	5,500
LCIF交付金	35,000

US\$ 110,000

支出

プレハブ建物 (入手した価格を列記する)	US\$66,000
配線その他電気関係	11,000
衛生設備	7,000
家具 (各品目の明細を記入する)	14,000
備品、用品	12,000

US\$ 110,000

一般援助交付金に関する問合せ先

国際本部のLCIF Grants Department

電話 (630) 571-5466、内線292又は507、ファックス (630) 571-5735

(ライオン誌本部版2月号から引用)